

キリストを現代に伝える人たち

～新島 襄(にいじま じょう)～



新島 襄という人物は、今年の大河ドラマの主人公、新島八重の夫です。江戸時代の末期、彼が18歳の時、人生を変える大きな出来事がありました。それは漢語訳聖書との出会いです。「初めに、神が天と地を創造した」という聖書の書き出しの創世記1章1節の言葉に、

彼は大きな衝撃を受け、天地を創られた真の神様がおられると悟ったのです。この言葉との出会いが、彼をキリスト教信仰へと導くことになり、また、アメリカ行きを決心させる事になりました。当時日本は鎖国状態にあり、キリスト教は国禁でしたが、1864年、彼が21歳の時函館から密航を企て、アメリカ商船に乗り込み、一年後にボストンに到着しました。その後の活躍についてはご存知の方も多い事と思いますが、彼の人生を変えた聖書のことばを、ぜひあなたも味わってみて下さい。

TOPIC!!

“おもちつき”がなければ
一年がはじまらない!!

お米を蒸すいい
香りが立ちこめ、や
がて、杵の音やかけ
声がホールに響き渡
りました。つきたての
おもちを丸めて、
お腹いっぱいおいし
くいただきました。



INFORMATION!!

Spring Easter Concert 第3回
スプリング
イースターコンサート

3/31(日) 16:00～(入場無料)

出演:藤丸 麗(ピアノ)

教会の春夏秋冬・・・四旬節(レント)

教会では、毎年2月の半ばから四旬節(レント)という期間を迎えます。四旬とは「40日」という意味で、イースター(復活祭)の46日前(日曜日を除いて数えるので、46日となります)の期間を指します。今年は3月31日がイースターですから、2月13日から3月30日までとなります。

「40」という数字は、聖書では特別な準備期間を示します。例えば、イエス・キリストは、公生涯に入る前に荒野で40日間の断食をされました。キリスト教初期の時代からクリスチャンたちは、イエス様に倣うという意味でイースターの前に40日間の準備期間を設けていました。これがレントの由来です。また、レントは受難節とも呼ばれています。特にその最後の一週間を受難週と呼び、イエス様の十字架を覚えるのです。私たちが罪と滅びから救うために、十字架にかかって命を捨ててくださったことに感謝をささげるのです。



宝塚栄光教会

牧師:岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail: iwama@takara-eiko.com

http://www.takara-eiko.com

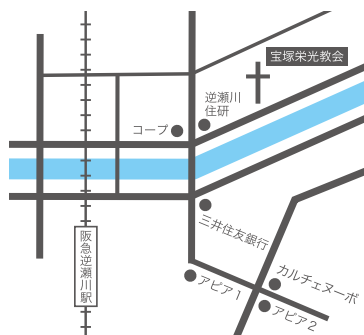
希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト
でも配信中!
ホームページから
利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく
正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。



2月、一番寒い季節を迎えました。



雪よりも白く

最近、関西のあたりでは雪が降ることがめっきり少なくなりましたが、先日の寒波で久しぶりに雪が積もり、朝、窓を開けて思わず“わーっ”と歓声を上げました。この間は、所用で長野県に行くことがあったのですが、真っ白に雪化粧した北アルプスの山々の姿を見て、感激しました。

旧約聖書の詩篇51篇7節に、こうあります。「ヒソプをもって私の罪を除いてきよめてください。そうすれば、私はきよくなりましょう。私を洗ってください。そうすれば、私は雪よりも白くなりましょう。」

真っ白な雪は心を洗ってくれるような気がします。しかし、その雪よりも白いものがあります。それは、罪が赦された心です。

私たちは、真の神様を知らず、神様から遠く離れていました。聖書の言う罪とは、神様から離れている心の状態のことです。私たちが人を憎んだり、恨んだり、傷付けたりするのは、真の神様から離れているからです。神様によって創られた私たちは、神様から離れては生きていくことができません。罪を持ったままでは、私たちは滅んでしまうのです。そんな私たちが、罪

と滅びから救われるために、神様は、ひとり子イエス・キリストをお送りくださいました。キリストは、罪のない神の子でしたのに、私たちのために十字架にかかってくださいました。

十字架刑というのは、当時、極悪人が処せられる死刑の方法でした。普通、十字架につけられた罪人は、苦痛のためにわめきちらし、周囲の人々を呪いながら死んでいったのだそうです。しかし、キリストは、想像を絶する苦しみの中で、「父よ、彼らをお赦してください…」と相手のために祈りながら死んでいかれたのです。

このキリストの十字架が自分の罪のためだったと信じるなら、誰でも、どんな罪でも赦され、救われることができます。私たちの罪は、そう簡単に赦されるものではなく、どんなに頑張っても消すことができないものでした。しかし、キリストの十字架の血は、私たちの心から罪を消し去り、雪よりも白くしてくださるのです。

あなたの心はいかがでしょうか。雪よりも白い心にしていただきませんか。そのままキリストのもとにおいでください。キリストはあなたを待っておられます。



「路のとう」

雪をかきわけ 払いのけて
雪の中から 路のとうを見つけた
浅黄色のその姿は
見つけられたことを 喜んでいるかのように
身をゆらして 笑っている

庭先の 毎年顔を出す この場所でのこと

冷たい風が吹いて まだ雪が残って
酷寒の日々だったではないか

路のとうは わずかばかりの太陽の射す日に
その光を 自分の身に集めて 茎をのばしていたのか
厳しい時間の数を思うと

胸が痛くなり いとおさがこみ上げる
この手のひらで つつんでやりたいと
指先の赤くなった手を広げる

春まで もう一息だね
足元に近づいている 小さな春だよりも
気持ちが届まされるね

私達の日々も やがて暖かい春の陽に
おおわれていく

主は 地に命令を送られる
そのことばは すみやかに走る
主は 羊毛のように 雪を降らせ
灰のように 霜をまかれる
主は 氷をパンくずのように 投げつける
だれがその寒さに 耐ええようか
主が みことばを送って これらを溶かし
ご自分の風を吹かせると 水は流れる

(聖書)